

施策

施設の利便性を高め、利用促進を図る

担当部局

企画財政局



【快 適】めざすまちの姿 公共の施設が、市民にとって安全で使い勝手がよく、有効に活用されている

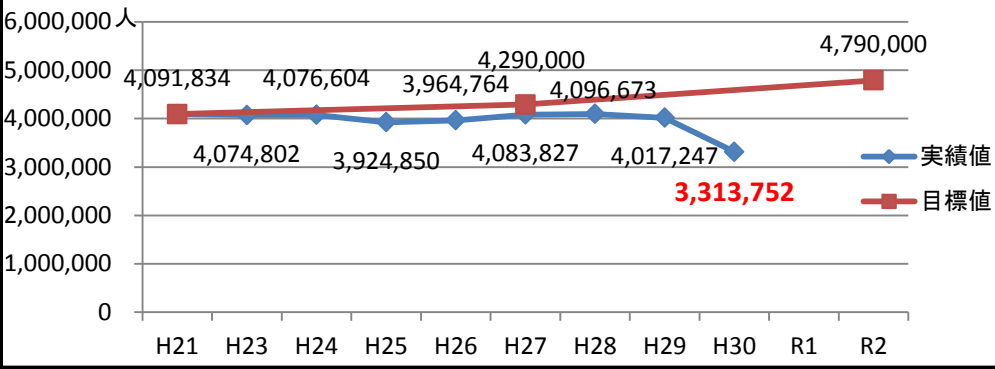
市の基本方針

- 施設の安全性を高めるとともに、地震発生時の避難場所としても活用できるよう耐震化を進めます。
- 人に優しく、だれにでも利用しやすい施設をめざして、バリアフリー化を進めます。
- 施設の開館日や利用時間等について、費用対効果を考慮しながら、利用者の視点で見直します。
- 利用者の満足度やニーズを調査し、施設の管理運営について積極的に改善します。

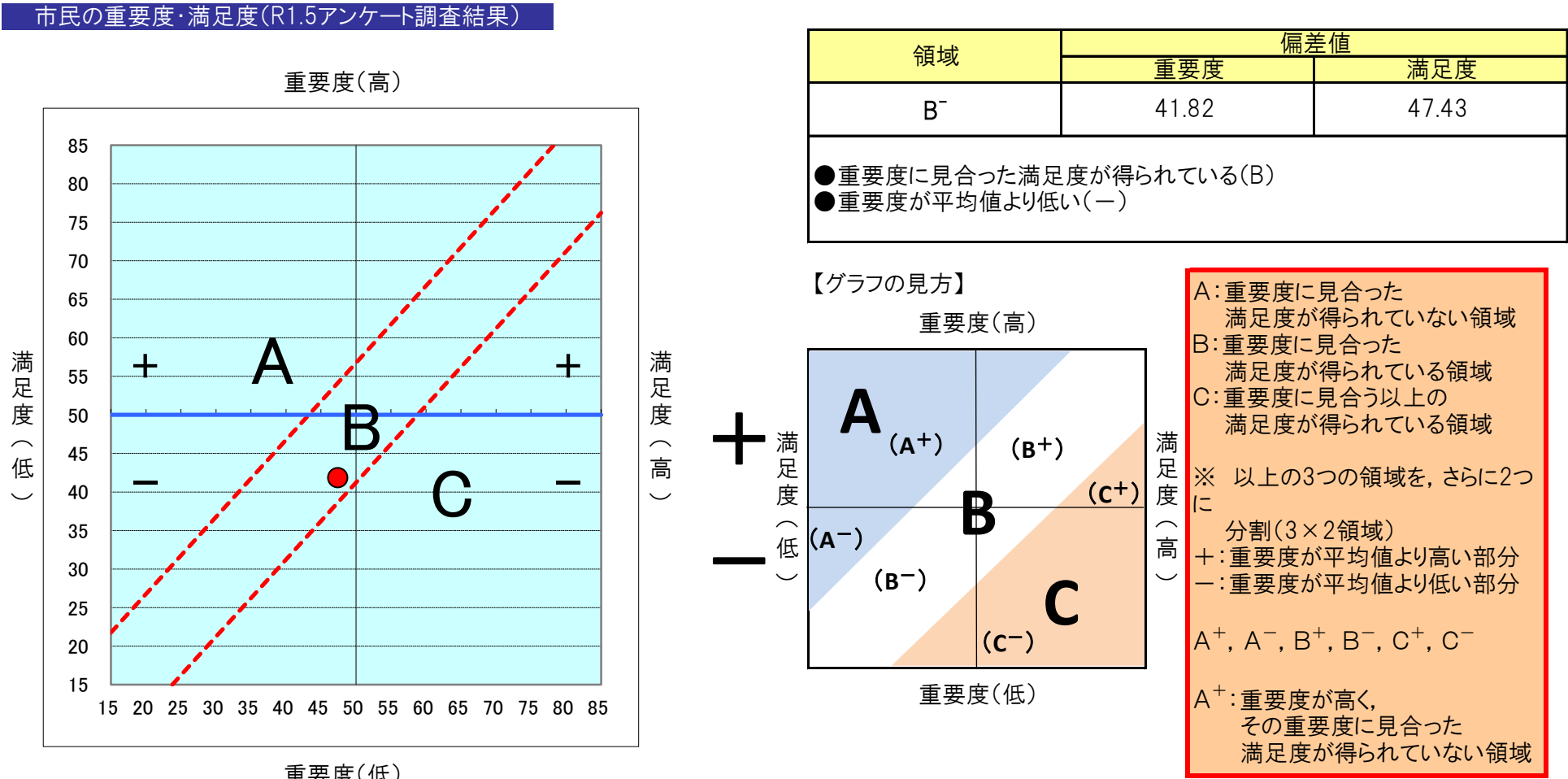
数値目標

まちづくり指標		目指す方向性	算出方法																																				
公共施設を利用したい時に利用できると思っている人の割合			市民アンケート調査で「市内の公共施設を利用したいときに利用できていますか。※ここでいう公共施設とは、図書館、ライフパーク、公民館、スポーツ施設をさしています。」という設問に対して、『はい、できています。』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「公共施設を利用したいときに利用できていますか。※公共施設とは、図書館、ライフパーク、公民館等の教育施設やスポーツ施設などをさしています。」という設問に対して、『はい、できています』と回答した人の割合。																																				
<table><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr><tr><td>H21</td><td>57.7</td><td>57.7</td></tr><tr><td>H23</td><td>65.4</td><td>60.2</td></tr><tr><td>H24</td><td>60.2</td><td>60.8</td></tr><tr><td>H25</td><td>60.8</td><td>59.3</td></tr><tr><td>H26</td><td>59.3</td><td>64.5</td></tr><tr><td>H27</td><td>64.5</td><td>66.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>62.2</td><td>62.2</td></tr><tr><td>H29</td><td>62.5</td><td>62.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>58.8</td><td>62.5</td></tr><tr><td>R1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td>74.0</td></tr></table>			年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H21	57.7	57.7	H23	65.4	60.2	H24	60.2	60.8	H25	60.8	59.3	H26	59.3	64.5	H27	64.5	66.0	H28	62.2	62.2	H29	62.5	62.5	H30	58.8	62.5	R1			R2		74.0	動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ)
年度	実績値 (%)		目標値 (%)																																				
H21	57.7	57.7																																					
H23	65.4	60.2																																					
H24	60.2	60.8																																					
H25	60.8	59.3																																					
H26	59.3	64.5																																					
H27	64.5	66.0																																					
H28	62.2	62.2																																					
H29	62.5	62.5																																					
H30	58.8	62.5																																					
R1																																							
R2		74.0																																					
		(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、1.1ポイント上がり、前年度に比べ、3.7ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P74】 (Ⅱ) 地区別では児島地区67.3%、玉島・船穂地区60.0%の順に高く、茶屋町地区42.9%、庄地区44.0%の順に低い数値となった。 (Ⅲ) 前年は最も高い数値であった真備地区(74.0%)が59.4%となり、豪雨災害による施設の休館が影響したものと考えられる。																																					

まちづくり指標		目指す方向性	算出方法																																				
公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思っている人の割合			市民アンケート調査で「市内の公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思いますか。※ここでいう公共施設とは、図書館、ライフパーク、公民館、スポーツ施設をさしています。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「公共施設が利用者の立場にたって運営されていると思いますか。」という設問に対して『思う』と回答した人の割合。																																				
<table><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr><tr><td>H21</td><td>22.1</td><td>22.1</td></tr><tr><td>H23</td><td>23.6</td><td>25.0</td></tr><tr><td>H24</td><td>25.0</td><td>24.0</td></tr><tr><td>H25</td><td>24.0</td><td>17.9</td></tr><tr><td>H26</td><td>17.9</td><td>23.3</td></tr><tr><td>H27</td><td>23.3</td><td>20.6</td></tr><tr><td>H28</td><td>20.6</td><td>23.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>23.5</td><td>21.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>21.7</td><td>21.7</td></tr><tr><td>R1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td>50.0</td></tr></table>			年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H21	22.1	22.1	H23	23.6	25.0	H24	25.0	24.0	H25	24.0	17.9	H26	17.9	23.3	H27	23.3	20.6	H28	20.6	23.5	H29	23.5	21.7	H30	21.7	21.7	R1			R2		50.0	動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ)
年度	実績値 (%)		目標値 (%)																																				
H21	22.1	22.1																																					
H23	23.6	25.0																																					
H24	25.0	24.0																																					
H25	24.0	17.9																																					
H26	17.9	23.3																																					
H27	23.3	20.6																																					
H28	20.6	23.5																																					
H29	23.5	21.7																																					
H30	21.7	21.7																																					
R1																																							
R2		50.0																																					
		(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、0.4ポイント下がり、前年度に比べ、1.8ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P75】 (Ⅱ) 地区別では船穂地区が30.0%と最も高く、茶屋町地区が14.3%と最も低かった。 (Ⅲ) 基準値からほぼ横ばいの数値となっている。各施設で利用者ニーズは把握しているであろうが、利用者への改善点の広報も含めて十分に答えられていない状況にあると思われる。																																					

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
公共施設の利用者数(延べ人数／年度)		スポーツ施設利用者数, 図書館入館者数(ライフパーク図書室含む), ライフパーク利用者数, 公民館利用者数
		動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ)
		(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、778,082人減り、前年度に比べ、703,495人減った。 (Ⅱ) 内訳は、スポーツ施設利用者数(1,302,938人), 図書館入館者数(1,212,769人), ライフパーク利用者数・公民館利用者数(798,045人)であった。 (Ⅲ) 各施設で減少した。豪雨災害による施設の休館が影響したものと考えられる。

施策を推進する主な事業の評価			
区分	事業名	目的(Ⅰ)／平成30年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	H30年度 決算額 (千円)
	市の各施設は、その施設の目的に沿った「めざすまちの姿」へ位置付けしています。したがって、個別にここへは記載していませんが、このシートに掲げた「市の基本方針」に沿った取り組みを進めます。		



課題
●平成30年7月豪雨により、多くの公共施設が被災した。 ●多くの公共施設が老朽化し、更新時期を迎えている。 ●施設のバリアフリー化について、市民の様々な意見に対応していく必要がある。 ●多くの公共施設で利用者アンケートを実施し、満足度や改善すべき点の意見等を聞いているが、その結果をより施設運営の見直しに活用していく必要がある。

今後の取り組み方針
●被災した各公共施設の早期復旧、早期の機能回復に取り組み、施設利用者等へのサービスを提供していく。 ●公共施設の耐震化、大規模修繕による長寿命化のほか、複合化・集約化を進めていくとともに民間活力の導入も検討する。 ●洋式化等、ユニバーサルデザインに配慮した公衆トイレの改修を行う。 ●施設の利用者アンケートの結果の分析をより緻密に行い、施設運営の見直しに結び付けていく。